



おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告
2014年秋号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

10/15 静岡県警察本部 警備訓練大会を視察 会場 駿府公園ヘリポート 小雨の中で開催された。



映像・通信の機動警察通信隊 県警本部長、公安委員長を先頭に総勢 780 名の警備部隊を巡閲 女性警察官特別機動隊 訓練開始まで小雨の中、この姿勢。



関東管区機動隊・東中西各方面機動隊・県警機動隊・特科部隊による基本訓練、想定訓練（デモ警備、暴徒鎮圧等）重装備でも大盾を駆使する機敏な行動。



通称 S P と呼ばれる警備警護員による要人警護訓練。暴漢が現れた場合は身体を張って要人を守り抜く。常に厳しい表情で監視する。街宣車通行阻止訓練。



暴徒鎮圧訓練。暴徒役の機動隊員が氣勢を上げ、火炎瓶に見立てたペットボトルを投げ、アルミの盾を蹴って抵抗するが警備車兼放水車から水を浴びて退散。



東部・中部・西部方面機動隊がデモ隊と機動隊に分かれてのデモ警備訓練。デモ隊が抵抗するが阻止され、座り込みを行う。機動隊員が取り押さえ連行する。

8/27 ~ 29 広島市土砂災害 被災現場視察



八木地区梅林小学校避難所。被災した緑井・八木地区の山裾は住宅団地で密集している。3階建の県営緑丘住宅も2階まで土砂で埋没。土石流の恐ろしさを実感。



現場を見て現状が分かる。地元の中高校生やボランティアの土砂の掻き出し作業。小学校避難所は夏休みが終わり体育館に移動。自衛隊員から捜索状況を伺う。

9/13 県政報告会 藤枝市文化センター 第1部 落合県議 県政報告

1. 広島土砂災害現場 8/27 ~ 29 視察報告
 2. 6月、法案成立の医療介護総合確保推進法について
 3. TPP 酪農と農業のニューランド視察報告と静岡県農業
- 第2部 高塚講師 講演テーマ「韓国はなぜ反日なのか？」

参加者募集 落合政経塾
毎月第一水曜日 19:00 ~ 21:15
今後予定 12/3(水) 1/7(水) 2/4(水)

常任講師の高塚先生の政治経済講演 30分間は勉強になります。県議から県政の話題等報告後、参加者と意見交換をします。

10月1日(水) 開催状況
11月5日(水) 開催状況

落合慎悟事務所
〒426-0031 藤枝市築地838
TEL 054-645-8100
FAX 054-645-8111
メール s.o@thn.ne.jp
http://www.ochiai-shingo.jp

静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



『年金資金 129 兆円を GPIF が運用変更!!』『株式運用 10%→25%に拡大!!』不安を感じる!!

厚生・国民年金の積立金 129 兆円を運用している GPIF がリスクが大きい株式運用を拡大する。所有株価上昇で 2 年間に資金運用収益が 22.4 兆円となった。しかし 12 年間には 1 年で 9 兆円も欠損したこともある。円安 116 円、株価も 1 万 7 千円台となり、株保有者は喜んでいる。しかし、ほとんどの一般庶民は株式を保有していない。本来株式は企業の業績を見て投資家が公開株式に投資し、配当を得るものである。現在の株式所有者は売買で儲けようと博打的な色合いが強い。上場企業の大半は本業で儲けていない。上昇要因は外国資本が円安で 3 割も安く日本株を大量に買っているから。

水素エネルギー革命到来!! 燃料電池車『ミライ』発売!! 『水素価格』ガソリン並みに!!

水素が新エネの主役に急浮上。九州大学等が難関であった超合金水素タンクや触媒装置の開発成功で 700 気圧、純度 99.99% の水素が必要な燃料電池車 FCV が世界各メーカーから 2015 年発売開始。水素ステーションも全国 100 カ所設置に向け設備進行中。2025 年には燃料電池車 200 万台、水素ステーション 1000 カ所設置、水素発電専用発電所導入が国の目標に組込まれた。来年には岩手県宮古市で木材を原料にした CO2 フリー水素を製造、発電した電力を電力会社に販売する設備 (GE 製) が建設される。近年、水素技術も大きく進化した。常温で 500 分の 1 液化に成功、水素原価は現在の 4 分の 1。十年後は水素社会の到来となる。

2015 年度の介護報酬改定!! 財務省 6% 引下げ主張「介護事業者平均利益率 8% は高過ぎ!!」

介護報酬は介護サービスの公定価格を 3 年ごとの見直し。介護職員の処遇改善のため前回、前々回ともそれぞれ 1.2%、3% プラスしている。今回の見直しでは介護職員の処遇改善しながら全体で 6% 以上の引き下げを主張している。根拠は介護保険サービスの利益率が認知症グループホーム 11.2%、通所介護 10.6%、特養老人ホーム 8.7%、訪問介護 7.4%、訪問看護 7.4%、介護老健施設 5.6% と中小企業の 2.2% を大きく上回ったことが理由。更に特養の内部留保が 1 施設当たり平均 3 億円あり、全体では 2 兆円を超えている。社会福祉法人は国の補助金や税制面で優遇されている。人手不足が指摘される介護職員の処遇改善に活かせない施設経営体質をどう改善するかが課題である。現状のまま引き下げた場合は介護人材流出を更に加速させる可能性がある。

10月6日9時13分現在、台風18号で藤枝市は避難指示発令、世帯数18,913、対象人員50,554人

6日10時には避難勧告21市町となった。避難所開設状況31市町(藤枝市3箇所、焼津市10箇所、島田市35箇所)。県管理39河川57箇所で氾濫注意水位を超過。うち、避難判断水位超過11箇所。うち、氾濫危険水位超過6箇所。国管理11河川11箇所で氾濫注意水位を超過。うち避難危険水位超過3箇所。短時間雨量は約400mm。600mmなら瀬戸川水系の何処も危なかった。今回の台風豪雨で近隣市町との避難地域の決定と通報がバラバラなことが分かった。県市町が一体となって調整すべきと感じた。



田村憲久 前厚生大臣と医療介護について意見交換



藤枝市の「フジエ」さんと

9月議会 知事報告

大規模地震への万全の備え・・・富士山分かに備えるため、10月に山梨県、神奈川県と合同で富士山火山防災訓練を行う。内陸フロンティアを拓く取組み・・・5月に指定した推進地区で磐田市、富士市で企業進出決定した。10月に第2次指定を行う。富士山静岡空港新幹線新駅・・・富士山静岡空港新幹線駅の関連調査費を補正予算に盛り込んだ。全県を挙げて取り組んでいく。人口減少社会への挑戦・・・「少子化対策」施策に取り組み、「保育所入所待機児童ゼロ」の実現を目指し定員の拡充を図る。新成長産業の育成と雇用創造・・・ものづくりの基盤技術の高度化や次世代産業の創出を加速化するため新しい施策の検討を進める。富士山を活かした地域の魅力づくり・・・富士山の全体登山者数は8月末で243,662人、山梨県とも連携して基本的施策を検討する。主要国首脳会議(サミット)・・・「食の都」「茶の都」「花の都」など本県のもつ「場の力」を発信しておもてなしを提供したい。富士山静岡空港・・・8月利用者数は約5万6千人、搭乗率76.2%で過去3年間で最高だった。貨物利用の拡大も図る。

文教警察委員会報告

10/8 教育委員会 教育関係は学力調査テストと補助教材問題、警察関係は新任の西川直哉本部長(警視監)挨拶と危険ドラッグ問題
第156号議案 建築工事請負契約・・・県富士水泳場天井改修工事落札額8億3700万円飛鳥建設㈱の契約締結。
26年度全国学力・学習状況調査・・・小学校の国語算数が改善。課題は知識の活用、文章書き、図形グラフの意味の理解力。
補助教材採択状況調査・・・静岡教育出版(社)校長会等が関与)の占有率が小学校72%で異常に高い。小学道徳は97%。
(補助教材は、資金確保に利用され、制作担当の教員を「公務員法違反」「特定業者に利益供与」について議会で問われている。)
高校就学支援金認定状況・・・4月高校授業料無償化廃止、97校23,486人中19,253人に支援金、1,778人に奨学金支給。
県公立学校教員採用・・・合格者(受験者)小学校227人(765)、中学校154人(663)、高校167人(1040) 支援・養護151人。
幼保連系型認定こども園・・・27年から幼稚園教育要領と保育所保育指針との整合性確保、小学校教育へ円滑な接続に配慮。
県立武道館で特産品販売・・・販売額の10%手数料を徴収しているが、今後は商工会、観光協会と協議の上で料金対応が可能。

10/9 公安委員会(警察本部)

刑法犯及び抑止重点犯罪・・・H15年刑法犯62,275件がH25年は29,395件、重点犯罪は34,889件が15,392件と大幅減少。
生活安全相談受理状況・・・H25年DV622件、ストーカー604件、その他303件。26年ストーカーが減、その他が増加傾向。
非行少年の検挙・補導状況・・・H16年4,026件がH25年1,803件と減少しているが不良行為少年がH20から倍増19,606人。
振り込め詐欺等の特殊詐欺・・・H21年の検挙112件、被害額254,070円がH25年は257件、128件、1,270,512円。
暴力団検挙状況・・・H21年196人がH25年149人(山口組92人、稲川会38人、その他19人)と減少。
薬物事犯の検挙・・・H21年555人がH25年430人(覚醒剤353人、大麻62人、麻薬等15人)、危険ドラッグ事件が増加。
山岳遭難事故及び水難事故・・・H18年の山岳遭難37人、水難91人がH25年は139人と29人。山岳遭難の51件は富士山。
交通事故発生状況・・・H17年26,533件、死者154人、H25年22,961件、死者116人、その内高齢者が65人で56%。

東京都観光視察 ツーリズム EXPO ジャパン・有楽町交通会館内県観光協会東京観光案内所・ちゃばら館内の県アンテナショップ「おいしず」

全国各地の観光 PR ブース 世界各国の観光 PR ブース 有楽町の県観光案内所 交通会館内地下の兵庫庫 秋葉原近くのちゃばら館「おいしず」で販売員と